

真校だより第121号 令和7年4月号

【回覧】

# ふきのとう

## 令和7年度 新庄神室産業高校 真室川校 入学式



令和7年4月8日（火）に、山形県議会議員の小松伸也様、真室川町長の新田隆治様をはじめ、多数の御来賓の皆様のご臨席のもと、令和7年度入学式が挙行されました。学年主任の泉谷先生をはじめ多くの先生方も加わる吹奏楽部の演奏に合わせ、担任の柘植先生に導かれながら、やや緊張した面持ちの7名の新入生が入場し、全校生に迎えられました。

野崎修校長先生は式辞の中で、校訓「自律・誠心・挑戦」と生徒会メインスローガン「地域を愛し、地域に生きる」に触れながら、新入生に以下の3点について呼びかけられました。

①良き習慣を身につけましょう。時を守り、場を清め、礼を正すということを意識しましょう。

②様々なことに挑戦し、小さな成功体験を積み重ねながら、「やればできる！」という自身を身につけましょう。

③18歳になれば成人として扱われます。高校生活を通して、社会をつくる一員としての自覚と自分の行動に責任を持つ姿勢を身につけましょう。

これを受けて、新入生代表の日食璃愛さんが、「私たちにとって、高校生活は新しい挑戦の始まりです。困難に直面することもあるかもしれません、仲間を互いに尊重し、協力しながら充実した三年間を築いていきたいと思います。」と力強く宣誓しました。

新入生7名が、真室川校での3年間の生活を通して、力強く成長してくれることを心から願っています！

## 対面式・生徒会オリエンテーション～2・3年生が心を込めて新入生を歓迎！～

令和7年4月10日（木）に、対面式と生徒会オリエンテーションが行われました。対面式では、新入生を代表して佐藤琉生君が、上級生を前にしてしっかりと挨拶してくれました。その後、新入生が一日も早く学校に慣れ、充実した生活が送れるように、上級生が歓迎の思いを込めて学校の説明やレクリエーション「ワードウルフ」を企画・実施しました。みんなで長い時間をかけて準備したお陰で、新入生たちの緊張感も徐々にはぐれたようです。

生徒会活動・委員会活動等の説明、部活動の紹介と、上級生たちは一人何役もこなしながら、懸命に真室川校の魅力について説明してくれました。新入生も真剣な表情で説明を聞いていました。最後は、縦割り班での交流「自己紹介・他己紹介など」を通して、新入生と在校生が親睦を深め、楽しい時間を過ごすことができました。



# 令和7年度 生徒会執行部

今年度前期の生徒会スローガンは、「桜梅桃李」です。「他人と比較せず、自分の個性を大切にし、自分らしさを表現していくことを大切にしていこう」という意味が込められています。生徒会メインスローガンである「地域を愛し地域に生きる」とともに地域との関わりを大切にしながら積極的に多様な活動に取り組み“地域に愛される真校をつくっていく”という精神を大切にしています。

○会長	富樫 凜	○応援団長	加藤太一
○副会長	杏澤美桜	○書記	山田翔太
○議長	栗田愛梨	○書記	植木健吾
○副議長	阿部幸翔	○書記	中川和輝
○事務局長	庄司悠斗		



## 各学年 HR活動 の様子 から



## マムチャレが始動しました！

真室川校生は、数年前から3年間を通して、朝学習として国語・数学・英語の学び直しに取り組んでいます。基本的な内容ではあるものの、生徒個々の得意不得意もあって、理解できないまま積み残してしまっている部分が多くあるというのが実態でした。そこで、今年度から学校全体の取り組みとして、おおよそ月に1回の頻度で、授業を5分間短縮することで、学び直しの時間を30分間確保し、積み残した部分を中心に個別指導を行うことにしました。

生徒が希望する進路目標（進学・就職）を実現することができるよう、今まで以上に学校全体で基礎基本からしっかりと丁寧に指導していきます。生徒たちには、今まで以上に基礎基本を大変にして、主体的に学習に取り組んでほしいと願っています。

保護者のみなさま、地域のみなさまにも、ご理解とご協力をお願いしたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひします。

## 職員紹介

## 今年度もどうぞよろしくお願いします！

※赤字は新任者

